

イエス・キリストの十字架

2025年4月13日

受難週

イザヤ書 53章

ペテロⅠ 2・21～25

マタイ27章、マルコ15章、ルカ23章、ヨハネ19章

I. 神のご計画

(1)最高傑作 ⇒ 背き・墮落 ⇒ 刑罰は死（霊的、肉体的、永遠）⇒ 滅び必定

(2)救い方法 : 選び+恵み+信仰 死の解決：罪の赦し、永遠のいのち
父 子 御霊

(3)御子を救い主として世に遣わされた（処女降誕、完全な神&人間、死と復活）

II. キリストの十字架はどのように成就したか（別紙参照）

受難週の木曜日と金曜日

過越の準備と食事、ゲッセマネでの祈り、捕縛、尋問（カヤパ、ピラト、ヘロデ）
十字架刑、死、埋葬

III. キリストのご生涯

- (1)疎外（誕生～公生涯、目立たない、貧しさ、ナザレの大工、蔑み、聖への憎しみ）
- (2)身代わりの死（罪のない方が罪人に代わりに処罰、自発的に命を捨てる）
- (3)完き服従（ののしり、苦しみに抗弁や言い訳をしない、自発的な従順）
- (4)死にて死に勝利（復活によって／信じる者＝神のこども、御国の民 永遠に）

IV. 十字架上の死は何をもたらしたか

- (1)信じる者が癒され、罪を赦される（罪を離れ、義のために生きるようにされる）
信仰の実はいよき行い、神とみことばに従う
- (2)迷える羊 ⇒ 羊飼いのもとに帰った（護り、養い、交わり）

V. 結び

闇から光へ、死からいのちに移され、天国人として地上を歩む者

光の子、神の子どもとされた者

自分のたましいの牧者であり監督者のもとで守られ仕える者

自分に与えられた光栄と責任を覚えつつ、主なる神に感謝と賛美をもって応答

神に喜ばれる日々の生活をささげものとしよう

主は私たちにいのちを与えられた 何をもってお返しをしようか

イエスの逮捕、尋問、死

紀元33年 過越

イエスの生涯最後の週については、ヨハネの福音書とマルコの福音書の2つに詳しく書かれている（ルカとマタイはマルコの書き方に倣っているが、事の起こった順序はそれほど詳しく書かれていない）。この2つの福音書から、この週の出来事のある程度明確に、1日ごとに追っていくことができる。

初めの2、3日、イエスはベタニヤからエルサレムに入り、宮に行き、夜になるとオリブ山を越えてベタニヤに戻った。水曜日はベタニヤで過ごした。

しかし木曜日に、すべてが変わる。最後の晩餐の場所や大祭司の家とされている場所を手がかりにして、イエスの動きを追うことができる。イエスはまず、(70人の中から) 名前の記されていない2人の弟子を、食事の場所を整えるために、エルサレムに送った。その後、12弟子と、おそらく何人かのほかの弟子たちも連れて、そこに向かった。

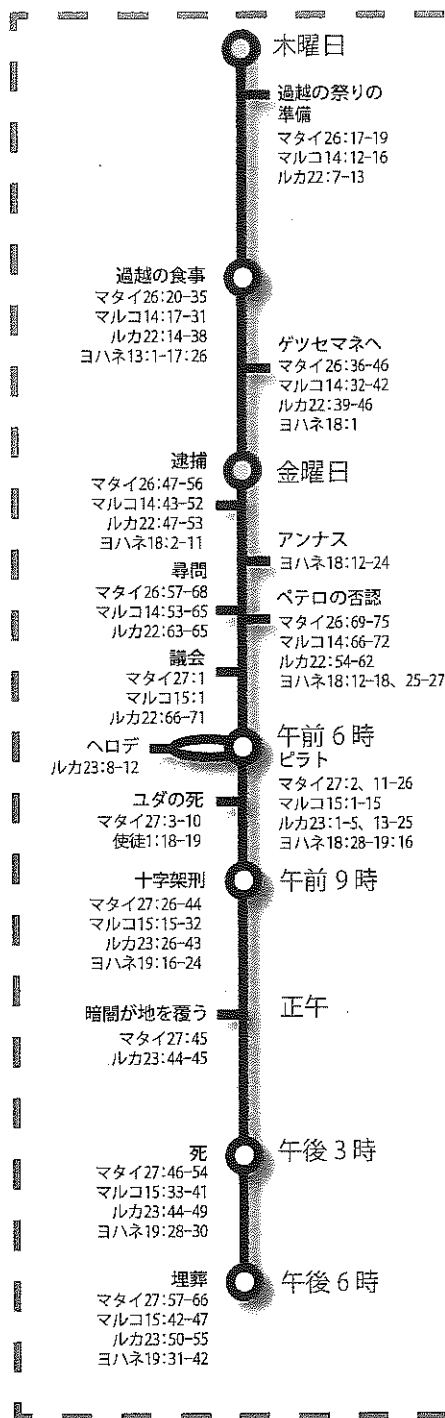
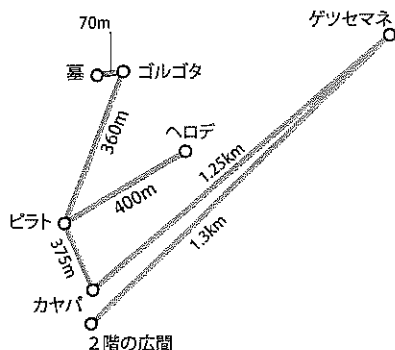
食事の後（もし、それが過越の食事であったなら、真夜中から午前2時までの間に終了していた）、彼らはゲツセマネに向かう。そこでイエスは逮捕され、尋問のためにエルサレムに連れ戻された。

翌朝、イエスは大祭司の家、ピラトの本部、アンテパスの滞りしていたハスモン家の宮殿へと移動させられた。その後、町の外に連れ出され、処刑された。

狭い街区

エルサレムは小さな町だった。福音書には、2、3時間という短い時間に起こった多くの出来事が書かれているが、地図を見ると、それらの出来事が起こった距離はそれほど大きくないことがわかる。たとえば、ピラトの本部から十字架刑の行われた場所とされている所までは、わずか200~300メートルである。

エルサレムの東から西へと続くピア・ドロサを通ったという言い伝えは、おそらく、歴史的に正確ではない。この言い伝えは、ピラトがアントニヤ城塞でイエスの裁判を行ったということに基づいているが、実際には、ピラトは町の反対側にある、ヘロデ大王の宮殿だった所に滞在していた。

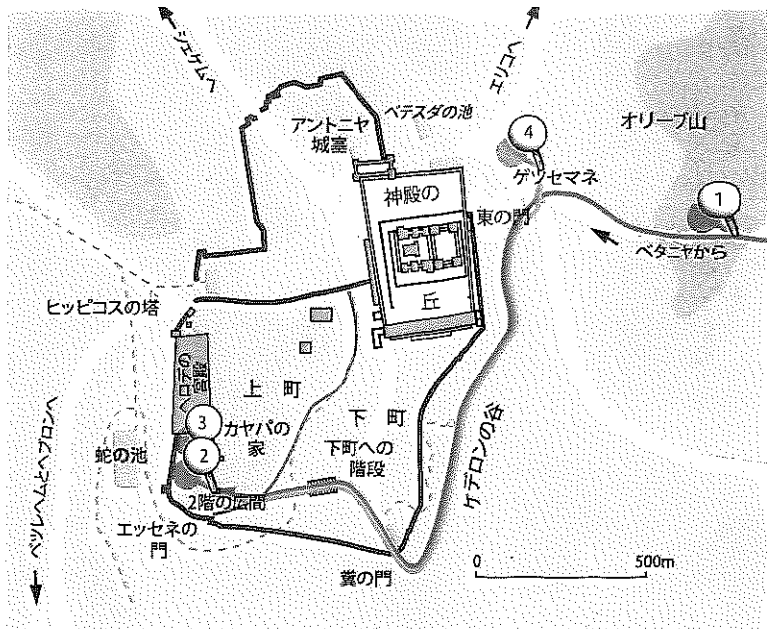


エルサレムのイエス

木曜日と金曜日

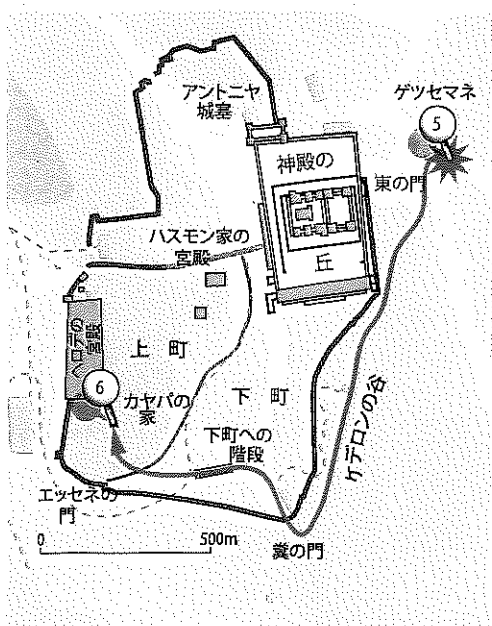
①木曜午後から金曜早朝まで

- ①木曜午後。イエスはベタニヤの家を出てエルサレムに向かう。
- ②食事の準備が整えられた2階の広間に行く。
- ③木曜夜。食事の途中でユダが部屋を去り、当局に通報するため、おそらく近くのカヤパの家に行く。
- ④金曜、0時から午前2時の間。イエスと弟子たちは祈るため、ゲツセマネに向かう。



②金曜未明から朝にかけて

- ⑤午前2時(?) イエスはゲツセマネで逮捕される。
- ⑥大祭司の家に連行され、アンナスとカヤパの前で尋問される。中庭で、ペテロがイエスを否認する。イエスはそこで一晩過ごす。



③金曜、明け方から午前9時まで

- ⑦明け方。イエスは議会の前でさばかれる。
- ⑧ヘロデ大王の宮殿にあるピラトの本部に連行される。
- ⑨ピラトはイエスをアンテパスのもとに送る。
- ⑩アンテパスはイエスをピラトに送り返し、ピラトが判決を言い渡す。
- ⑪午前9時、イエスはゴルゴタに連れて行かれ、そこで十字架につけられる。
- ⑫午後3時、イエスの体はおろされ、近くの墓に葬られる。

